

岩手県感染症週報

平成24年第43週（10月22日～10月28日）

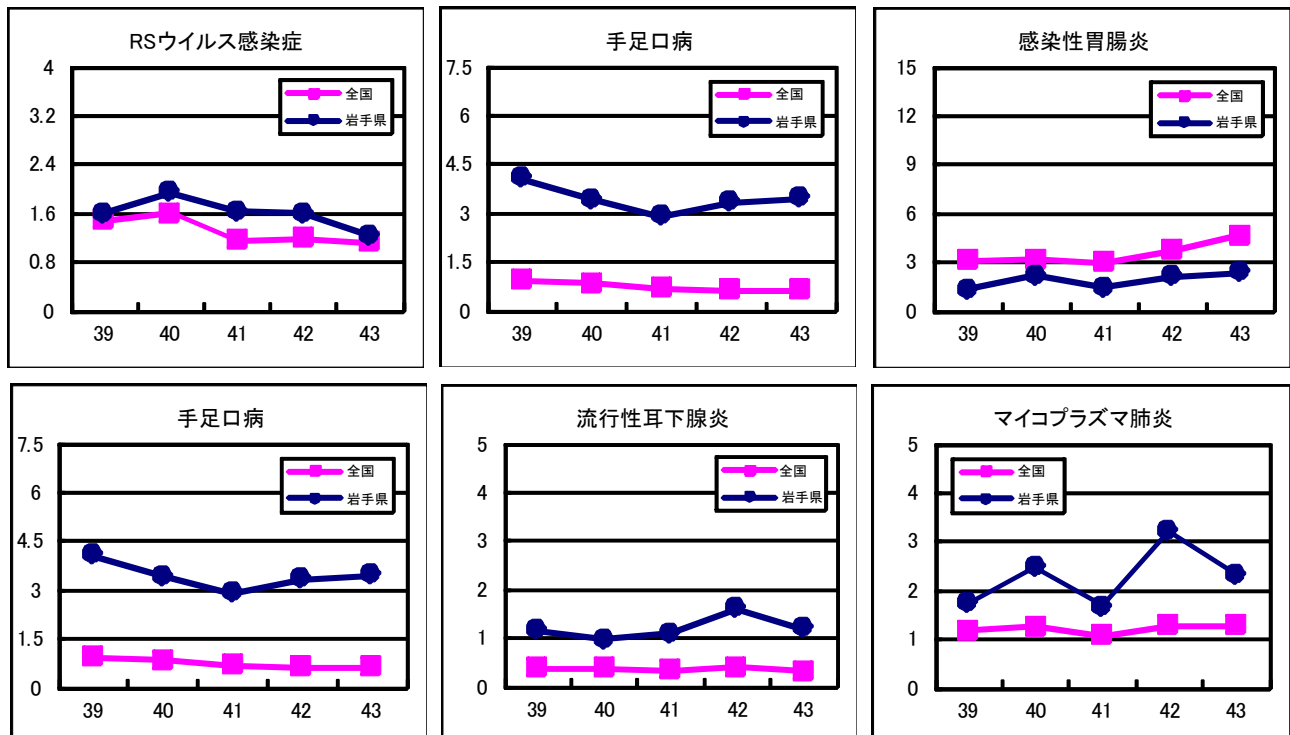
岩手県感染症情報センター

第43週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が4例（潜在性結核感染症例4例）ありました。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が6例ありました。今年の報告総数は102例です。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・アメーバ赤痢の報告が、盛岡市より1例ありました。患者は20歳代の男性です。
 - ・後天性免疫不全症候群の報告が、盛岡市より1例ありました。患者は20歳代の男性です。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・RSウイルス感染症は、3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、引き続き注意が必要です。地区別では、奥州、中部、県央地区が多いです。年齢層別では、2歳以下が88%を占めています。
 - ・マイコプラズマ肺炎は、定点あたり患者数は2.32人と前週よりやや減少したが、引き続き注意が必要です。本疾患は、マイコプラズマという小型の細菌を原因とする呼吸器感染症で、長く続く乾いた咳を特徴とします。適切な抗菌薬治療が必要です。
 - ・手足口病は、前週に引き続きやや増加しました。一関地区で警報値（定点あたり患者数5人）を超えています。
 - ・流行性耳下腺炎は、前週よりやや減少しました。宮古地区で警報値（同6人）を超えています。
 - ・インフルエンザは、流行開始前にワクチン接種を受けることが勧められます。ワクチン接種を希望される方は医療機関にお問い合わせ下さい。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		39	40	41	42	43		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.14	0.09	0.06	0.05	0.06		
RSウイルス感染症	岩手県	1.6	1.95	1.63	1.6	1.23	↘	☆
	全国	1.49	1.6	1.16	1.19	1.13		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.13	0.08	0.08	0.15	→	☆
	全国	0.25	0.2	0.15	0.18	0.2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.58	0.73	0.75	0.6	0.7	→	☆
	全国	0.94	1.01	0.87	1.13	1.22		
感染性胃腸炎	岩手県	1.3	2.18	1.43	2.15	2.38	→	☆
	全国	3.08	3.16	2.97	3.74	4.64		
水痘	岩手県	0.33	0.18	0.6	0.95	0.78	→	☆
	全国	0.45	0.46	0.53	0.5	0.72		
手足口病	岩手県	4.08	3.43	2.9	3.33	3.45	→	☆☆
	全国	0.95	0.86	0.69	0.64	0.63		
伝染性紅斑	岩手県	0.33	0.3	0.23	0.2	0.08	↘	
	全国	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04		
突発性発疹	岩手県	0.38	0.43	0.28	0.35	0.4	→	☆
	全国	0.65	0.59	0.54	0.59	0.61		
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.83	0.7	0.4	0.23	0.08	↘	
	全国	0.51	0.37	0.22	0.15	0.13		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.15	0.98	1.1	1.6	1.2	↘	☆☆
	全国	0.38	0.38	0.33	0.4	0.32		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.07	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.93	1.36	1.21	1	1	→	☆
	全国	0.61	0.63	0.54	0.52	0.51		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.06	0.08	0.02	0.03	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.74	2.47	1.68	3.21	2.32	↘	☆
	全国	1.18	1.26	1.08	1.28	1.28		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.05	0.03	0.05		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ☆：患者が発生しています
- ☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

	疾病名	岩手県						全国	
		(週) 39	40	41	42	43	累計	43	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核（ ）内は潜在性結核感染症患者数	7 (2)	9 (5)	8 (5)	1 (0)	4 (4)	251 (119)	344	23902
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	183
	腸管出血性大腸菌感染症	5	6	0	8	6	102	59	3415
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	29
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	18
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	96
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	139
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	11
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	つつが虫病	0	0	0	0	0	6	3	206
	デング熱	0	0	0	0	0	0	5	188
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	7	146
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	67
	野兎病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	9
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	2	12	699
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	4	21
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県						全国	
		(週) 39	40	41	42	43	累計	43	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	3	15	730
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	1	2	182
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	4	0	303
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	0	2	3	151
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	2	1	0	5	2	209
	後天性免疫不全症候群	0	1	1	0	1	4	14	1147
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	3	59
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	3	17	711
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	91
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	77
	風しん	0	0	0	0	0	1	20	1930
	麻しん	0	0	0	0	0	2	3	275

今注目の感染症

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという小型の細菌を原因とする呼吸器感染症です。幼児期から学童期に多い肺炎ですが全年齢層で患者が認められます。感染経路は、飛沫感染、接触感染で、潜伏期間は2～3週間と長く、症状は発熱、全身倦怠、本疾患に特徴的な長く続く乾性の咳です。

治療は、マクロライド系（エリスロマイシン、クラリスロマイシン等）が第1選択薬とされてきましたが、マクロライド系抗菌薬に耐性を有する耐性株が存在し、その耐性株の割合が増加しつつあるとの報告があり注意が必要です。（参考：IASR速報 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3814.html>）

岩手県内では、昨年5月より報告数の多い状況が続いています。

マイコプラズマ肺炎の流行の推移（岩手県 2010～2012）



今注目の感染症（つづき）

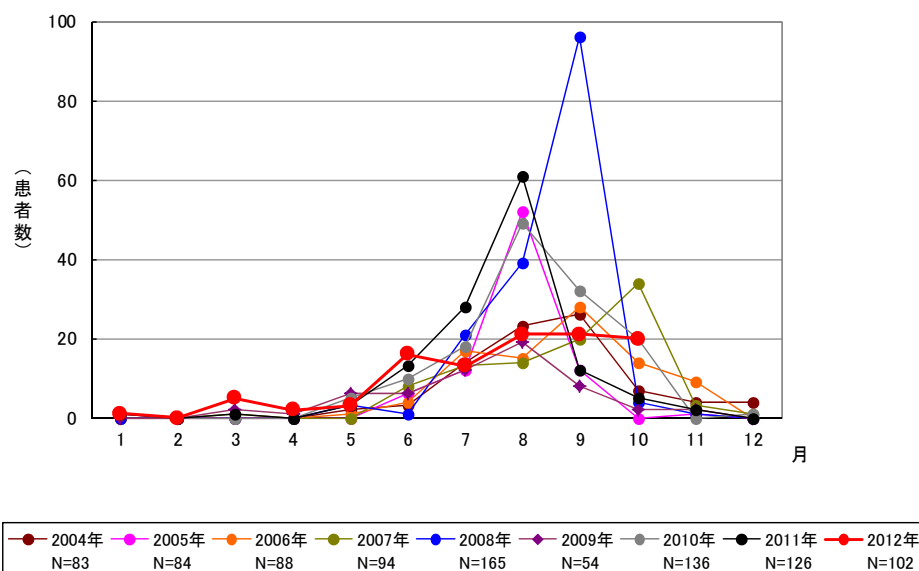
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第43週までに102例が報告されています。性別では男性が43例、女性が59例であり、年齢層別では0～9歳が36例、10～19歳が18例、20～59歳が32例、60歳以上が16例となっています。分離された大腸菌の血清群別ではO157が47例、O26が29例、O121が17例、O111が3例、その他が6例となっています。

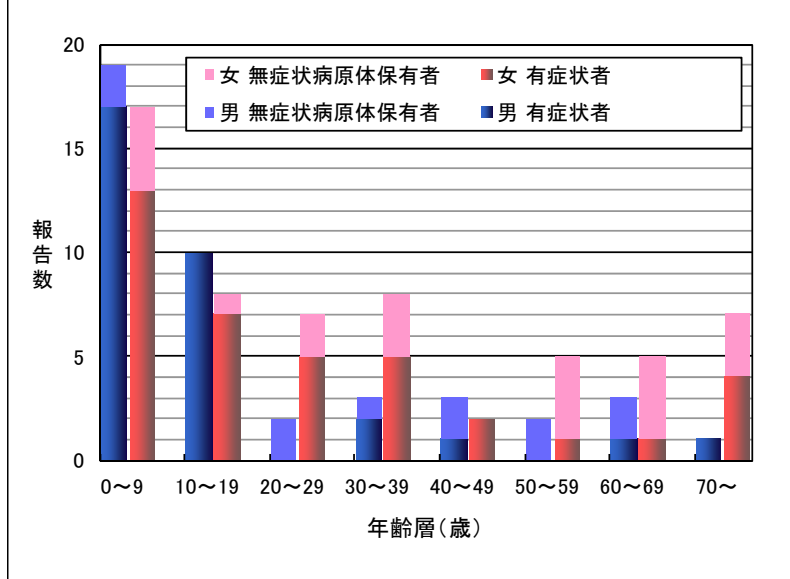
食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要です。オムツの交換時の手洗い、簡易プールの衛生管理、動物の接触後の十分な手洗いにも注意が必要です。

他県では集団食中毒の発生も報告されており、食中毒対策を徹底することが重要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数
（岩手県2004年～2012年）



腸管出血性大腸菌感染症の報告数、岩手県
性・年齢・症状の有無別、2012年第1～43週、N=102



今注目の感染症（つづき）

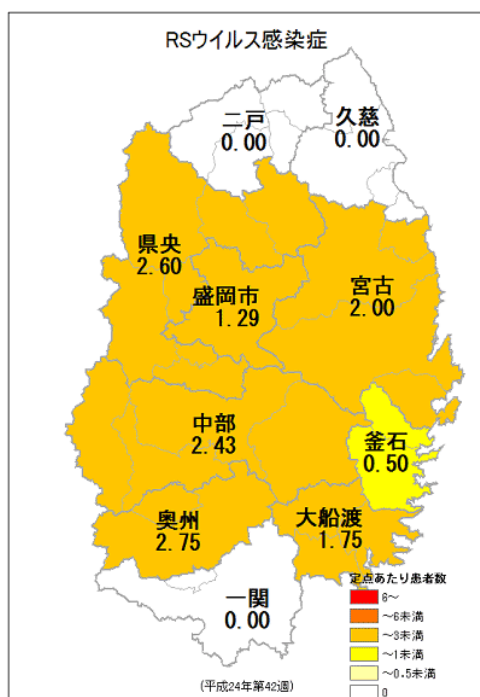
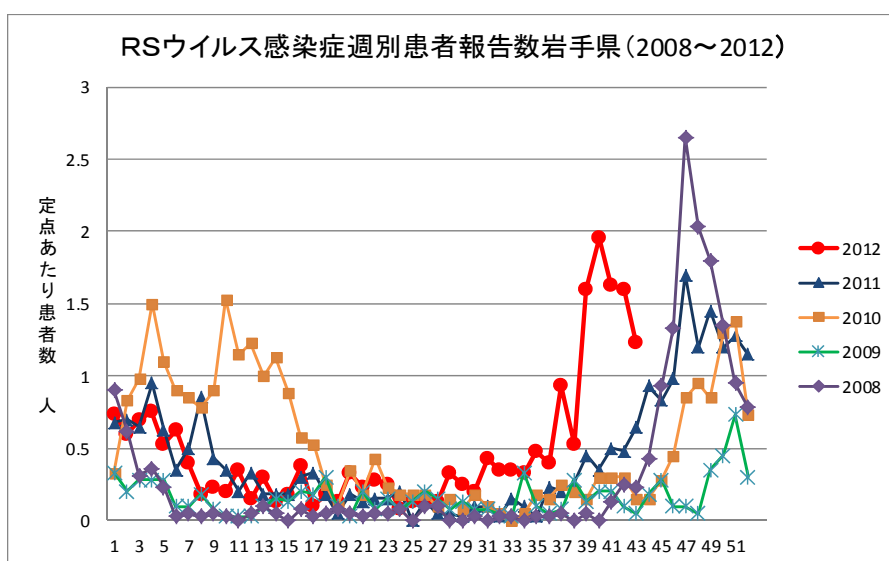
RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、冬を中心に流行するRSウイルスによる急性呼吸器感染症です。乳児の半数が生後1歳までに、ほぼ100%が2歳までに初感染を受けますが、終生免疫は獲得されず、一生の間に何度か感染を繰り返します。

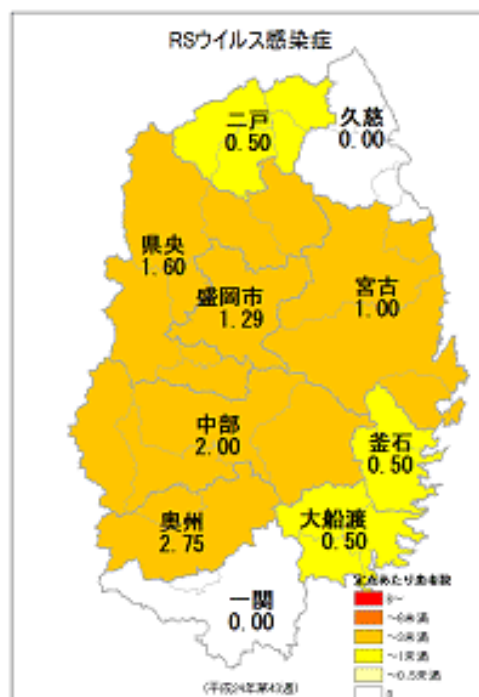
感染経路は、飛沫感染および接触感染（鼻汁や喀痰のウイルスが手指や器物を介し感染）です。年長者の再感染事例等では、典型的な症状を呈さず軽症例もあることから、家族間感染や乳幼児の集団感染に注意が必要です。

症状は、鼻水、咳、発熱が主ですが、乳児患者の10～40%が細気管支炎、肺炎などの下気道炎を起こすといわれています。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、注意が必要です。

予防には、手洗いや咳エチケットが重要です。



第42週



第43週

病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

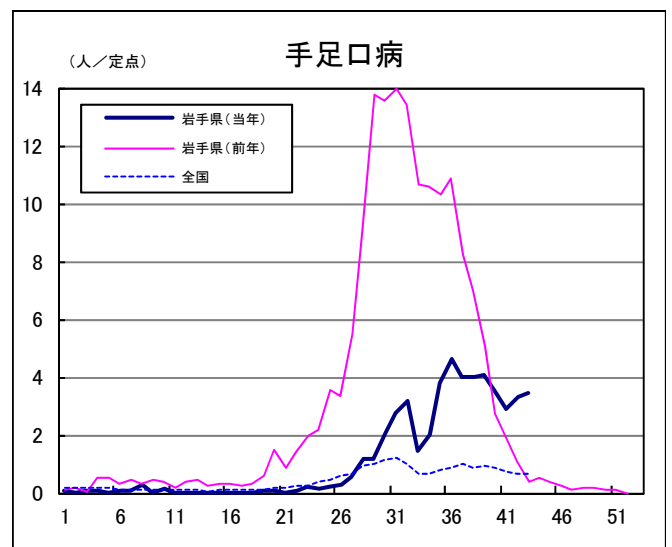
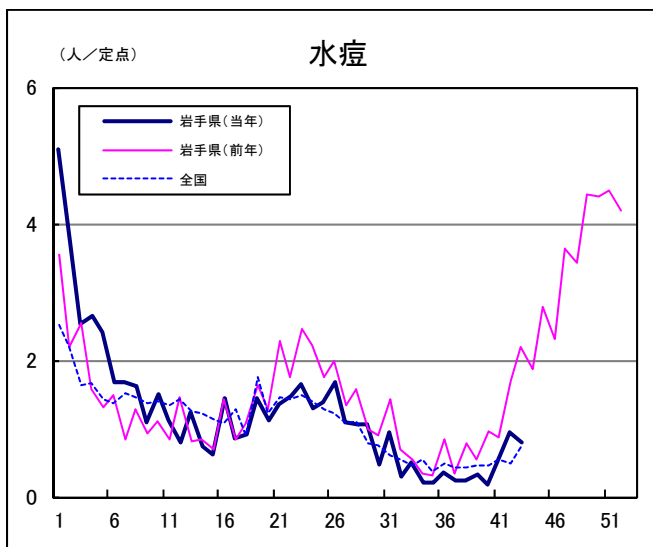
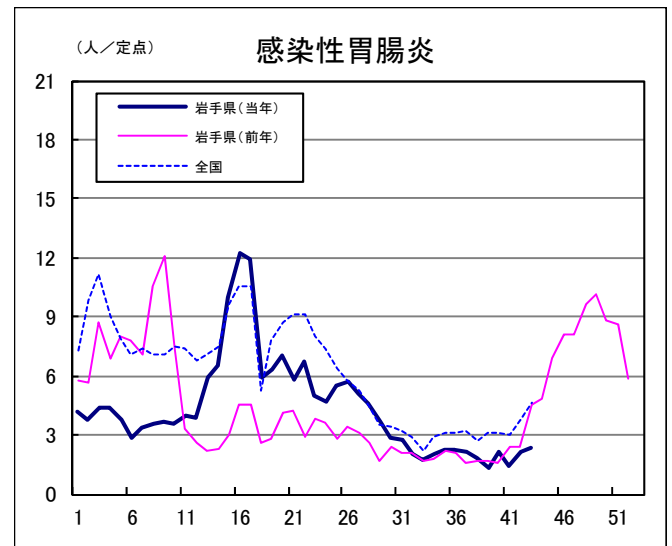
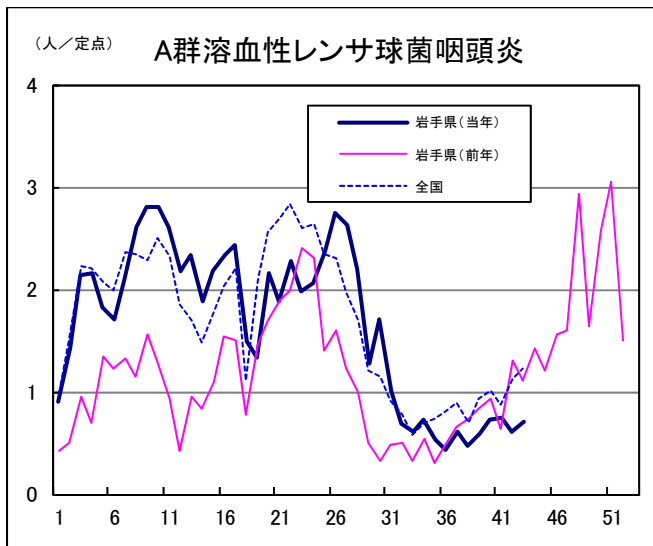
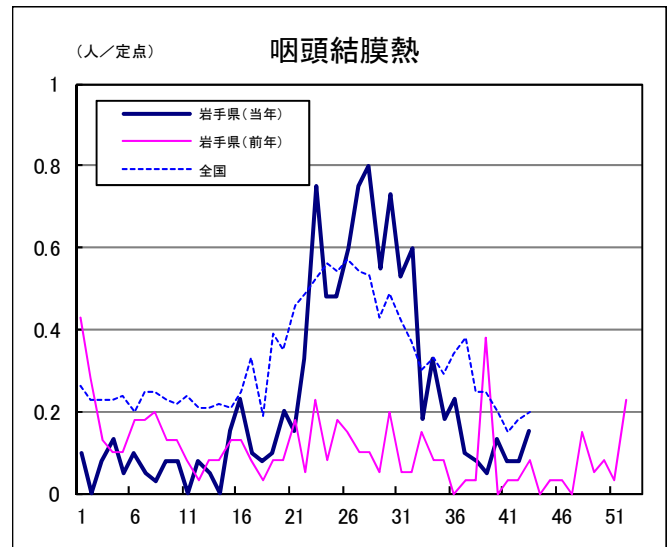
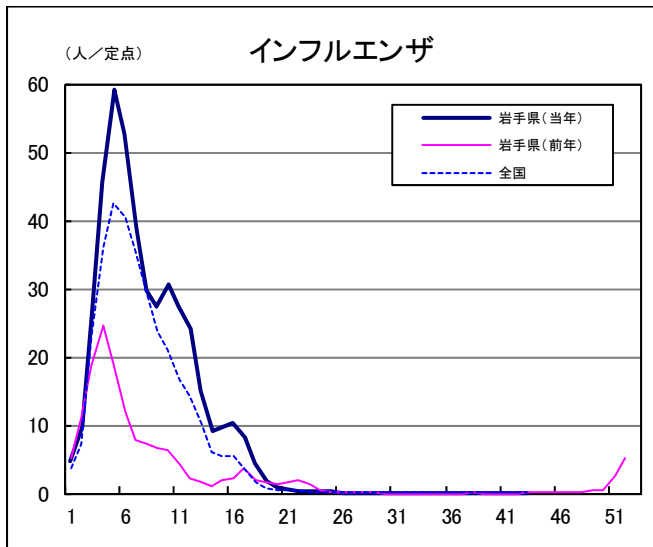
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

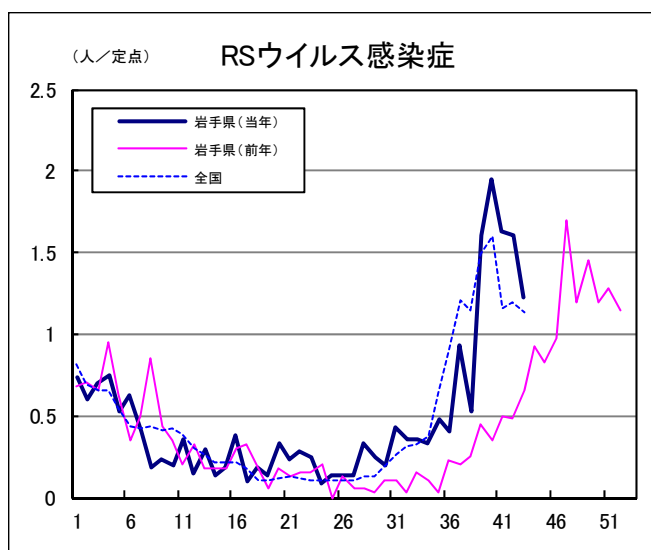
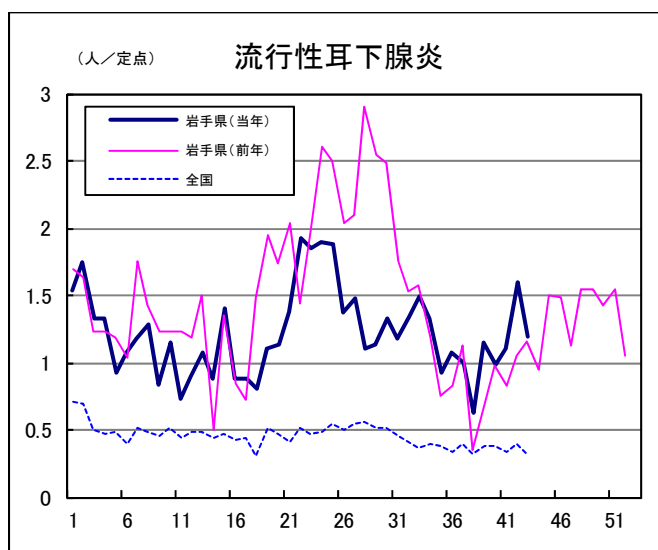
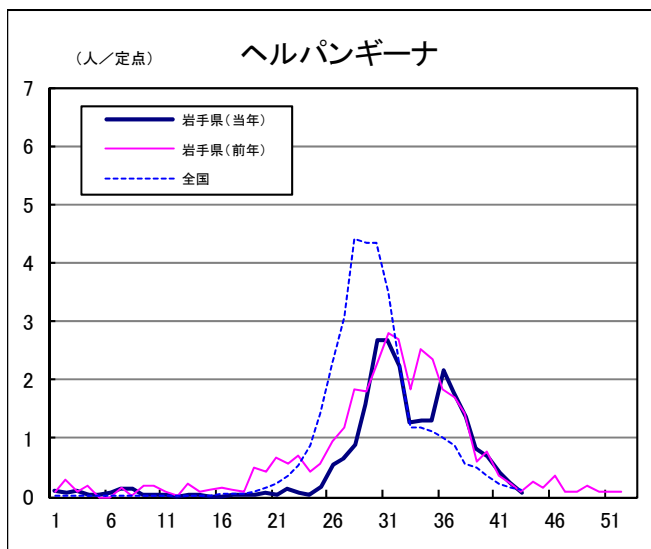
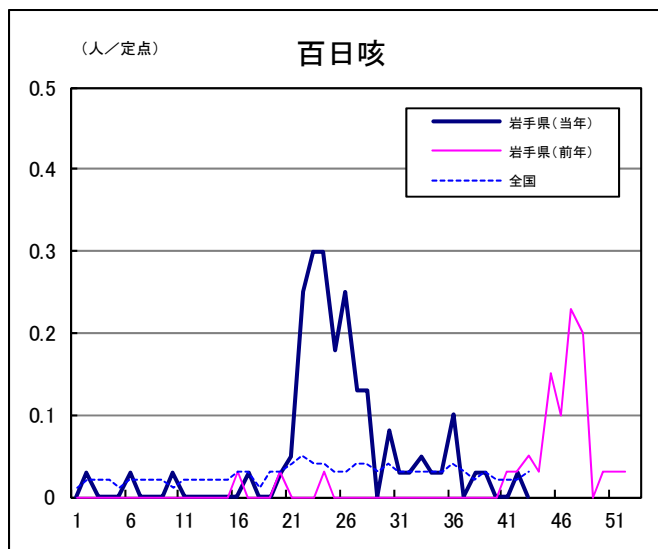
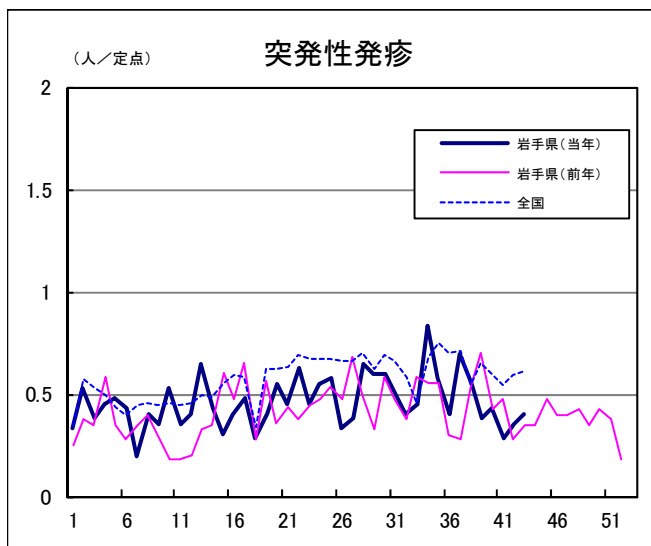
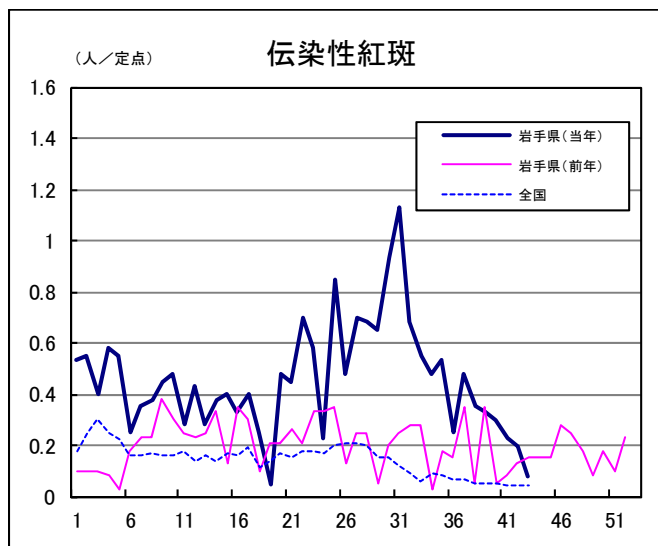
Q & A

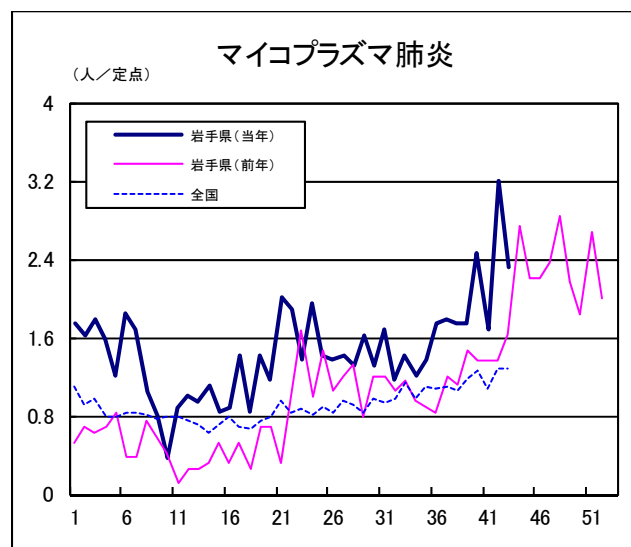
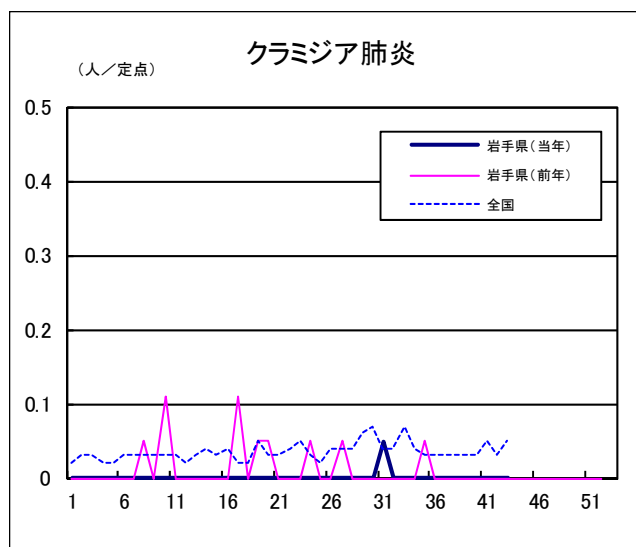
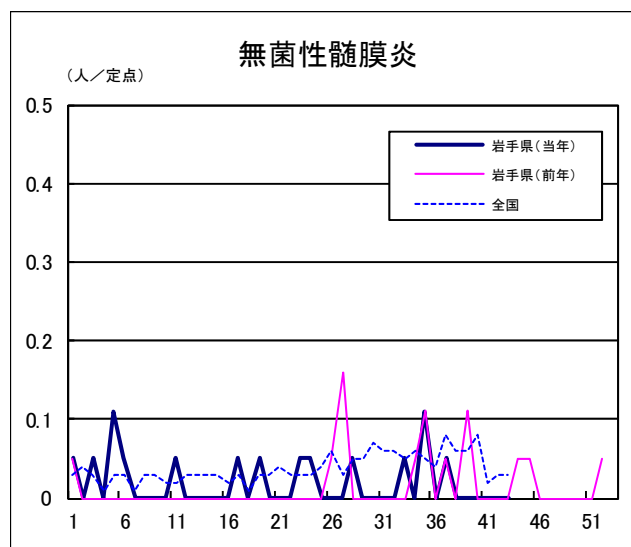
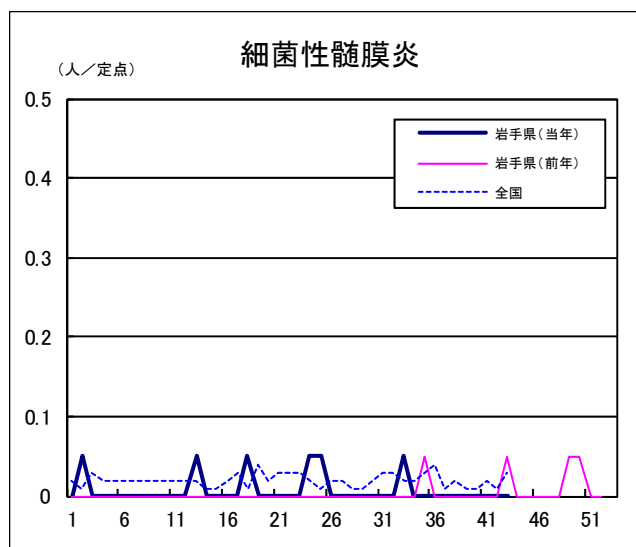
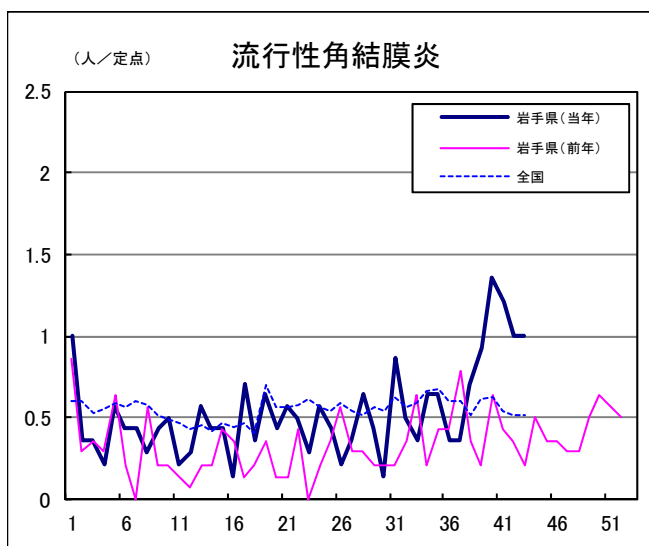
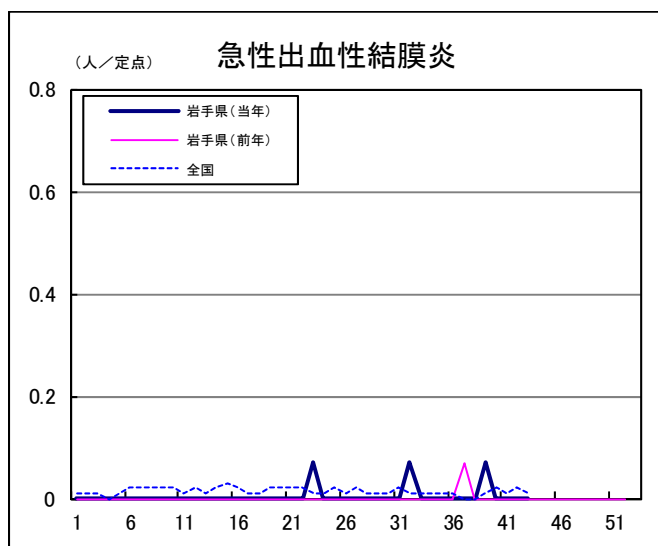
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第43週 平成24年11月2日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>